

# きれいな甲斐

No.69 JULY 2015

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。環境保全に関する活動を積極的にやっている団体、個人のみならずのご入会をお待ちしています。

## 環境パートナーシップやまなし

事務局 ●〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1丁目6-1 山梨県森林環境総務課内  
TEL.055-223-1657 FAX.055-223-1636 〓sinkan-som@pref.yamanashi.lg.jp  
ホームページ [「パートナーシップやまなし」検索](#)



古紙配合率100%再生紙を使用しています

発行責任者 ●企画委員長 権守昇

## 平成27年度定期総会を開催



平成27年度定期総会を、6月7日(日)、山梨県防災新館やまなしプラザで開催しました。

議事では、平成26年度事業報告・収支決算報告、平成27年度事業計画・収支予算について原案どおり承認されました。

また、役員を選任及び会則の改正が承認され、宮川会長が会長職を退任し顧問へ、坂本副会長が新会長に就任しました。

### 役員・企画委員 (平成27年6月7日より)

会長	坂本 政彦	(一社)山梨県トラック協会	野口 英一	(公財)富士山をきれいにする会
副会長	大澤 久	山梨県ボランティア協会	中澤 晴	日本労働組合総連合会山梨県連合会
	廣瀬 久	山梨県PTA協議会	渡辺 恭史	山梨県商工会議所連合会
監事	浅野 正一	(一社)山梨県建設業協会	辻 幸	山梨県林業団体協議会
企画委員長	権守 昇	山梨県商工会連合会	山本 紘治	山梨県自然保護教育振興会
企画委員	伊藤 祐寛	山梨県専修学校各種学校協会	依田 茂己	山梨県青少年団体連絡協議会
	齋藤 紳悟	(公社)山梨県私学教育振興会	小林 修	(一社)山梨県老人クラブ連合会
	飯窪 さ	山梨県女性団体協議会	岡 尚志	学識経験者
	村志 宏司	パルシステム山梨	萩原 雄二	(一社)山梨県労働者福祉協会
	篠原 吉彦	環境に関する企業連絡協議会	仲澤 早苗	山梨県消費生活研究会連絡協議会
	黒田 光秀	学識経験者		
	村松 初枝	山梨県生活研究グループ連絡協議会		
顧問	宮川 睦武	山梨県中小企業団体中央会		

### 平成27年度事業計画

#### 1. 活動情報の交換及びネットワークづくりのための事業

##### (1) 広報誌の発行

- ・会員向けの会報を、年4回を基本に発行します。
- ・会員相互のパートナーシップを深めるため、本会の活動計画や活動報告を掲載します。
- ・会員紹介や会員の特徴のある活動をPRし、環境活動を広めていきます。

##### (2) 会員の募集

- ・積極的な広報活動を行い、より一層の会員の拡大(募集)を図ります。

##### (3) ネットワークづくりのための調査・研究

- ・会員のネットワーク化及び主体的な事業参画に向けての調査・研究を行います。

#### 2. 3R・温暖化防止対策実践活動推進のための事業

##### ・エコライフお絵かき・川柳コンテストの開催

##### ・3R推進、地球温暖化防止に関するネットワークフォーラムの開催

県民への意識の定着化を進めるため、関係団体に働きかけ、エコライフの普及や地球温暖化防止に関するネットワークフォーラムを開催します。

##### ・県民の日記念行事におけるごみ減量化運動

県民の日記念行事がごみの出ないイベントとなるよう、ごみの持ち帰りパレードを実施します。

##### ・環境に関するイベント等の実施

県民の日記念行事等のイベントにおいて環境パートナーシップやまなしのブースを設置し、本会のPRや活動内容の紹介等を実施します。

#### 3. その他

- ・県事業との協働及び民間活動団体に対する後援等によるネットワークの拡充

「やまなしエコライフ県民運動」、「やまなしクリーンキャンペーン」、「NPO・ボランティア活動推進月間」などに積極的に参画し、実践活動を行っています。



## コラム

### もも引きさん ありがとう

阿刀田 高



男性のもも引き姿、女性の眼にはどう映るのだろうか。  
「いやねえー。年寄りくさいじゃないの」  
評判はよくない。私自身もあまりよい恰好とは思えない。  
とりわけ暑い季節、筆筒のすみから現れたりすると鼻白む。  
だが、お立ちあい。寒い季節がやってくると、これがとたんに  
いとおしくなる。冬の朝に着用して、しみじみと、  
「もも引きさん、ありがとう。」  
うとましく思ったことを後悔して謝る。  
何が言いたいのか。日本には四季があるということだ。厳然たる  
区分があって、それが私たちの日々の生活に、折々の感情に、  
強く深く染み込んでいるということだ。  
ノペラボウみたいに一年中みんな同じというケースとおおい  
にちがう。これがすばらしい。  
確かに凍える冬はつらい。汗まみれの夏は何もする気になれ  
ない。  
しかし、みんな四季の中の変化じゃないですか。プラス思考  
で捕らえよう、暑い夏、今は嫌いでも、もも引きさん、好きです。

## プロフィール

作家、小説家。昭和10年東京生まれ。

早稲田大学第一文学部フランス文学科卒業後、国立国会図書館で司書として11年間勤務する。

図書館勤務中から執筆活動を続け、昭和53年『冷蔵庫より愛をこめて』でデビュー。

昭和54年『来訪者』で第32回日本推理作家協会賞、同年短編集『ナポレオン狂』で第81回直木賞受賞。平成7年『新トロイア物語』で第29回吉川英治文学賞受賞。

その他、『短編小説のレシピ』『旧約聖書を知っていますか』など著書多数。

最近の著作に『アンブラッセ』（文藝春秋 2015年1月）がある。

平成15年紫綬褒章、平成21年旭日中綬章受章。

平成19年から平成23年まで日本ペンクラブ会長を務める。

平成24年4月に山梨県立図書館館長就任。

平成26年4月に新田次郎記念会理事長就任。

## 緑のカーテン情報を募集します

気象庁のデータによると、過去100年間に、日本の平均気温が約1℃上がったのに対し、山梨県はその倍の約2℃上昇したと言われています。

夏の暑い時期にエアコンが使う電力は、消費電力全体の約4分の1と大きな割合を占めています。緑のカーテンでエアコンの使用を減らせば、地球温暖化防止に大いに貢献します。また、エアコンによる屋外への排熱が少なくなるため、都市部のヒートアイランド化（人工的な排熱の集積で周囲よりも熱くなる現象）防止にも役立ちます。

山梨県では、県内の家庭や事業所等において取り組んだ、緑のカーテンの取組事例や体験談などの情報を募集します。応募していただいた緑のカーテンの取組情報の中から、特に優れた取り組みと認められる事例について、「優秀事例作品」として広く紹介し記念品を贈呈します。

取組情報については、山梨県のホームページや県の事業等で紹介させていただき、県民の皆さんに広く情報提供してまいります。地球温暖化を防ぐために、誰にでもすぐできる「緑のカーテン」づくりを取り組んでみましょう。



### 今年はぶどうのカーテンにチャレンジ!

ぶどうでカーテンづくりを始めてみませんか。

#### No.1 栽培管理にあまり手間がかかりません。

- ・乾燥に強く、水やりで失敗することが少ない。
- ・ブドウの実を多収することにこだわらなければ、消毒もそれほどせずに済む。
- ・永年作物なので、毎年、植え替える必要がない。（※苗を植えてから2年から3年で立派な緑のカーテンになる。）
- ・マンションのベランダなど狭い場所で栽培する場合、適切な大きさの鉢で根域を制限すればコンパクトに育てられる。

#### No.2 葉形が美しく、素敵な緑陰空間が創れます。

- ・美しい刻み目のついたハート型の葉形が愛らしい。葉と葉が重ならないよう枝の剪定と誘引を工夫することで、さわやかな緑の木漏れ日を楽しめる洒落た緑のカーテンになる。



NGO「やまなし環境会議」(JECY)

平成26年4月29日、環境保全活動に取り組むNGO「やまなし環境会議」を初めとする団体は、『秩父多摩甲斐国立公園』について、国連教育・科学・文化機関のエコパーク登録を目指す、いわゆる地域創生の構想を発表しました。

その構想の実現のために、中村司山梨大学名誉教授を実行委員長に迎え、「『昇仙峡を取り巻く秩父多摩甲斐国立公園をユネスコエコパークに』実行委員会」を立ち上げました。

活動としては、まず田中収大月短期大学名誉教授と一緒に、南アルプス国立公園など関係する地域で、4月から、8月、10月、11月と計4回のエコツアーを企画し、合計で102名の県民が参加しました。

今年度を実施した4月のエコツアーには、42名の参加者が探索し、特に、ユネスコエコパークの核心部分となる、御岳昇仙峡、多摩湖、瑞牆山を中心に、多くの秘境の地にも足を踏み入れ研究をいたしました。

そこで、参加者全員が確認したのです。秩父多摩甲斐国立公園こそ、ユネスコエコパークに相応しいことを。

そしてこの実現によってこそ、山梨県民の輝かしい未来が予測されることを。

県都、甲府市は60パーセントに亘る市民が、水晶を中心とする宝飾業に関係すると言われていす。このように日本一の宝飾業の地に成長したのは、御岳昇仙峡で水晶が産出されたことによるものだと思います。

今までも、そしてこれからも、この御岳昇仙峡の『水晶レジェンド』が、山梨県民を導き、励まし、『秩父多摩甲斐国立公園をユネスコエコパークに』の実現と共に地域創生の旗頭になり、登録の実現により、山梨の埋もれた数々のレジェンドが世界に認められる日も近いと信じます。

これからの私たちの活動が成長していくことは、後藤知事が公約に掲げた『昇仙峡、金峰山のユネスコエコパーク登録を推進し、国際観光都市づくりを推進する』という考え方にもつながります。

これから、私たちのささやかな運動の成果を山梨県にお渡しして、一時も早い『秩父多摩甲斐国立公園をユネスコパークに』の実現を祈るばかりです。



エコツアー①



エコツアー②

## お知らせ

「環境パートナーシップやまなし」では、会員の皆様が作成した環境に関する情報(チラシ等)を、「きれい甲斐」の発行に併せて情報提供いたします。次号の締切日は8月末日です。

希望のある団体は、下記にご連絡ください。尚、郵送の都合により、ご希望に添えないこともあることを申し添えます。

環境パートナーシップやまなし事務局(県森林環境総務課内)

TEL : 055-223-1657 / FAX : 055-223-1636 E-mail : sinkan-som@pref.yamanashi.lg.jp

## 編集後記

平成27年度の初めての発行となりました。「きれい甲斐」No.69から、山梨県立図書館 阿刀田 高館長に連載をしていただくことになりました。

この冊子が皆様の環境に関する活動情報の発進の場として、一層充実するようにいたしますので、今後ともよろしくお願いたします。

7月に入り山梨の暑さは今から本番です。水分補給や適度な休憩、風通しの良い服装を心がけて、体調を崩さないようお気を付けてください。